



山野辺

〒088-0603 釧路郡釧路町別保南2丁目44番地1 TEL:0154-62-2019

《 校 訓 》
未来を拓く強い意志
 《学校教育目標》
 ○自主性をもち学び続ける生徒
 ○自らを律し広い心をもつ生徒
 ○心身を鍛え人生を切り拓く生徒



「卒業式式辞から」挑戦 協働 適応進化

校長 藤田 崇 充

3月13日に3学年18名が無事に卒業証書授与式を終えて、それぞれの思い描く進路の実現に向けて新たな一步を踏み出しました。この卒業生たちは別保中学校の伝統を先輩たちからしっかりと受け継ぎ、新型コロナウイルス感染症対策後の学校の新しい伝統を創造してくれました。なによりも中学生らしく、「4つのCでいい顔、笑顔、気持ちのいいあいさつ日本一！」という今年度のテーマを日常の学校生活の中で示してくれました。そんな卒業生たちに式辞の中で三人の偉人のエピソードをお話しました。

一人目は日本を代表する実業家でパナソニックの創業者である松下幸之助氏です。彼は「失敗したところでやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければそれは成功になる」と語りました。挑戦を続ける勇気は、自主的に歩みを進める力、未来を切り拓く力と結びついています。成功するまで諦めずに挑戦をし続けてください。

二人目は、北海道赤平市の植松電機の経営者でロケット開発などの宇宙開発事業を軸に研究開発を進めている技術者の植松努氏です。彼は日本の民間企業における宇宙開発の分野では第一人者です。不可能と考えられる事を実現するために、彼は「どうせ無理」という考えをなくし、「だったらこうしてみたら？」と可能性を広げる言葉・姿勢を大切にしています。夢を諦めず、お互いに可能性を信じ合うことで、未来は必ず広がります。自主性を持って仲間と共に「やってみよう」と一歩踏み出すことが、夢を現実に近づける最善の一步です。

三人目は進化論で有名な遺伝学者のチャールズ・ダーウィンです。彼は「最も強いものが生き残るのではない。最も知的なものが生き残るのでもない。変化に最もよく適応したものが生き残る」と述べました。変化に適応する力は、他人に指示されるのではなく、自ら考え行動する自主性から生まれます。これからの社会は急速に変化します。その中でたくさん学び、柔軟に考え、適応する力を持つことが、皆さんの人生を豊かにする事に繋がるでしょう。

この三人の偉人のエピソードからいえることは「挑戦」「協働」「適応進化」という三つの言葉です。この言葉をはなむけの言葉として贈ります。大事をなそうとするときにこの言葉を思い出して前進してくれることを期待しています。

この一年間、4つのCであるChallenge（挑戦）、Communication（対話）、Control（調整）、Change（変容・成長）を大切にしながら教育活動をすすめて参りました。至らぬ点があったかと思いますが、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。学校だけで解決できることは決して多くはありません。次年度も学校と家庭と地域が手を携えて一体となり、次の時代を担う人を育てていきたいと思ひます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



日	曜	主 な 行 事
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	PTA 三役会①
8	水	着任式・始業式 別保小入学式 ※給食なし
9	木	入学式 ※給食なし
10	金	交通安全街頭指導 対面式
11	土	リンク解体作業 9:00
12	日	(リンク解体作業予備日)
13	月	全校朝会 部活動見学～16日
14	火	職員室入室制限～16日 常任委員会
15	水	学力テスト(全学年)
16	木	身体測定・視力検査 評議会 常任委員会(質問対応)
17	金	部活動発会式 英検申込〆切
18	土	授業参観・学校説明会・PTA 総会
19	日	
20	月	保護者面談① 1年知能検査 得通発行(学力テスト)
21	火	保護者面談② 全校朝会(前期認証式) 諸費納入
22	水	保護者面談③ 評議会
23	木	保護者面談④(1,2年のみ) 3年全国学力・学習状況調査(国数英質)
24	金	保護者面談⑤
25	土	バレーボール釧路十勝定期戦
26	日	
27	月	振替休業(4/18参観日)
28	火	保護者面談⑥
29	水	昭和の日
30	木	生徒総会 全国学力学習状況調査(英「話すこと」)

※発行日時点の予定になりますので、変更が生じた場合はご了承下さい。

感動の「第79回卒業証書授与式」でした！

3月13日（金）、第79回卒業証書授与式が挙行され、18名の卒業生が別保中学校を巣立ちました。在校生や保護者の皆様に加え、ご来賓として釧路町教育委員会教育長 辻川尚志 様、PTA会長 佐々木洋平 様、その他多数のご来賓のご臨席を賜り、厳粛な中にも涙あり、笑顔ありといった温かな雰囲気の中で卒業式を執り行うことができました。何よりも印象的だったのは、卒業生の眼差しでした。式辞を読む校長先生や祝辞を贈るご来賓に向けて、真剣な表情で聞く姿に卒業後の人生に対する意志の強さを感じました。きっと、全ての卒業生が次のステージでも活躍してくれると思っています。本当に卒業おめでとうございます。

卒業生の保護者の皆様には心よりお喜び申し上げますと共に、これまで本校の教育活動にご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。



お世話になりました ～退職・離任者挨拶～

この3月末で退職・離任される2名の教職員を紹介します。保護者の皆様には、直接ご挨拶をする場がありませんので、この学校便りの書面をもちまして、ご挨拶とさせていただきます。



○藤田 崇 充 校長 退職

この3月で役職定年を機に37年間勤めた学校教育から離れて退職いたします。別保中学校には、教頭として2年間、校長として3年間の計5年間お世話になりました。素直で真面目で明るい生徒たちの笑顔、子ども達の未来に責任を持って臨む保護者・地域の方々の熱い思い、情熱を持って生徒たちに日々向き合う教職員に支えられて、今日の日を迎えられました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

○伊藤 祥子 教諭 釧路市立くしろ創明学園へ異動

素直で明るい子ども達と温かい保護者の皆様にもまれ、充実した別保中学校での生活を送ることができました。このような学校で7年もの月日を過ごすことができたことに、とても感謝しています。4月からは釧路市に開校する学校で勤務をすることになり、新たな挑戦で気が引き締まる思いです。

最後に、色々なご支援をいただきました地域の皆様にお礼申し上げます。

「釧路町いじめ根絶子ども会議」に生徒会書記局参加

2月16日（月）、オンラインで「釧路町いじめ根絶子ども会議」が開催されました。釧路町内の小中学校の代表が参加し、本校からは生徒会長の佐々木さん、書記の鈴木さんが参加しました。会議では各校の取り組みが交流され、互いに質問や感想が出されました。参加した2人は、次のような考えや感想をもちました。鈴木さんは今後の別保中としての取り組みとして「具体的ないじめの例を共有したり、相談することは弱いことではなく、自分を守る大切な行動だと伝えたりする」と考えました。また、佐々木さんは感想として「いじめは身近な問題で誰にとっても他人事ではない」と感じました。

この会議を受けて、本校生徒会では、「相談することの大切さ」と「いじめは決して許されないこと」の2点についてまとめたお便りを作成し、全校生徒に配付しました。下はお便りで紹介された相談窓口です。悩みは1人で抱え込まずに誰かに相談してください。



送別球技大会が大盛り上がり!!

3月9日（月）、3年生の卒業をお祝いし「送別球技大会」が行われました。種目はバレーボールで学年ごとにチームを作り、3つのリーグに分かれて戦いました。結果としては、全てのリーグで3年生が勝利し、貫録を見せつけてくれました。しかし、試合内容は随所に良いプレーがあり、白熱した戦いとなりました。放送委員の実況放送も試合を盛り上げてくれました。さらに互いに応援しながら、全校で楽しく過ごした1日となりました。



【お知らせ】 新年度の2日間は、下校時間が通常とは異なりますので、ご確認ください。

4月8日（水） 着任式、前期始業式、入学式準備 □通常登校 □下校バス 11時10分

※登校バスの乗車券は、現在使用しているものを提示してください。新学期に、新しい乗車券と交換します。

※給食と部活動はありません。

4月9日（木） 入学式 □通常登校 □下校バス 11時45分

※給食と部活動はありません。

